

1. 既に事業化が進んでいるもの

※前回からの進捗部分を赤字で記載。

		事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	ロボット 福島浜通り実証区域	○橋梁、トンネル及びダム・河川その他山野等を利用したロボット実証区域。 ※10/22時点で14の開発事業者から31実証試験希望が出され、市町村から提案のあった13の実証区域候補とマッチング中。	○8月12日、南相馬市下太田工業用地で実証区域第1号案件を実施。現在までに2件の実証区域を決定。【資料4】 ○相馬市、南相馬市、楡葉町にて事業者を集めて現地説明会を開催済み。
	放射線物質分析・研究施設	○燃料デブリや放射性廃棄物などの性状把握、処理・処分技術の開発などを実施。	○平成29年度の運用開始を目指す。 ○大熊町に立地決定。
	廃炉ロボットの屋内実証拠点(モックアップ施設)	○原子炉格納容器の調査・補修ロボットの開発・実証試験、燃料デブリ取り出しの実証試験などを実施。	○楡葉町にて10月19日に開所式。研究管理棟の運用を開始。【資料5】 ○4月頃:試験棟の運用開始予定。
	廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟	○多様な分野の国内外の大学、研究機関、企業等が集結し、廃炉研究を強化。	○平成28年度の運用開始を目指す。 ○8月28日、候補地として富岡町に立地決定。【資料6】

2. 早期に事業化を目指すもの

		事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	ロボット テストフィールド	○テストフィールドに加え、県内企業向けの支援機能も整備。	○平成28年度以降、事業化。 ○平成28年度概算要求において整備に必要な費用を要求中(事項要求)。【資料7】
	国際産学連携 産学官共同研究室(a) (ロボット)	○ロボット技術の共同研究施設を設置。	○平成28年度以降、事業化。 ○平成28年度概算要求において整備に必要な費用とともにイノベーション・コースト構想重点分野についての研究開発及び実用化開発・実証等支援事業費等を要求中(事項要求)。【資料8】
	国際産学連携 情報発信 (アーカイブ)拠点	○27年4月、県に有識者会議を立ち上げて具体化。 ※①展示・交流エリア、②資料エリア、③研究エリアをベースに検討。	○有識者会議を5回開催し、施設の機能、内容等を取りまとめた。(9月10日に報告書を知事へ提出) ○平成32年度の運営開始を目指す。【資料9】
	スマート・エコパーク	○新たに研究会を設立し、産学官によるネットワークを形成し、浜通り地域を中心に新たな環境・リサイクル産業の集積を図る。 ○研究会を通じて、新たなリサイクル事業の実証や人材育成等を実施。	○県において8月10日に「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」の設立総会を開催し、141団体が参加(10月19日現在)。 ○今後、順次ワーキンググループを設置し、個別に検討。 ○新たな案件創出に向けたFS調査を10月より実施。 ○平成28年度概算要求において必要な調査費を要求中。【資料10】

3. 事業化に向け更に検討が必要なもの

		事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	国際産学連携 産学官共同研究室(b) (放射線の知識が必要な研究分野を対象)	○放射線の知識が必要な先端研究を実施する共同研究施設を設置。	○平成30年度以降、事業化。 ○引き続き事業化に向けて検討。
	国際産学連携 大学教育拠点	○上記の産学官共同研究室(b)を拠点に具体化を図る。	
	国際産学連携 技術者研修拠点	○廃炉人材育成、防災研修について民間主体で検討し、具体化。	○平成29年度以降、事業化。 ○具体化に向けて、民間企業等による検討を開始。
	国際産学連携 (県)ハイテクプラザ 浜通り分所	○県がハイテクプラザ浜通り分所の設置を検討。	○現在、ハイテクプラザ浜通り分所の設置について検討中。

4. 一部事業化に着手済みだが、更に検討が必要なもの

		事業概要	進捗状況(主なもの)
県	エネルギー関連産業	○10のプロジェクトを提示し、一部着手済み。今後、更なる具体化。	○再エネ復興推進協議会の設立(7月31日) ○風力発電構想検討会委員会の設立(7月2日) ○スマートコミュニティ推進検討会の設立(5月28日) など各プロジェクトの詳細を検討するための会議体を設立【資料11】
	農林水産プロジェクト	○8のプロジェクトを提示し、一部着手済み。今後、更なる具体化。	○大熊町植物工場の計画づくりと整備 ○CLT推進検討委員会の設立(9月3日) など各プロジェクトの詳細を検討中【資料12】